

せんだんの木

岩野田北小学校
学校だより No. 10
令和3年3月24日



よく我慢し、自分で工夫してがんばり通せた1年間！

感染症の広がりにより、6月1日が始まりとなった令和2年度が閉じようとしています。たくさんの行事が変更・中止となり、日々の授業にも様々な制約が課される中、岩野田北小学校503名の児童は、よく我慢し、自分で工夫しながら、この1年間本当によくがんばりました。

6月、新年度が始まるにあたり、わたしは子どもたちに以下の3つの願いを話しました。

- ①いつも『自分の願い』をしっかりと持ってほしい！
- ②自分のいいと思えるところをすぐに話せるようになってほしい！
- ③自分の命は自分で守ってほしい！

一つ目は、以前からこだわってきた、どんなときも「～したい！」という自分なりの願い・思いをもって生きてほしい、ということです。自分なりの願い・考え・思い、そして夢・志をしっかりと持つことができている子

どもは、まわりの環境に左右されることが少なく、地道に前進していけるものです。

この点については、日々の活動の中で、多くの子が自分の思い・願いを具体的に主張できるようになってきたと感じています。

二つ目は、以前紹介しました「自己肯定感」にかかわることです。子どもたちには、いつも「自分のいいところ、いいなあと思えることをすぐに2～3つ言えるようになるう。」と話しています。子どもは子どもなりに「わかること・できること」にこだわります。そして、こだわっていることを褒めてもらえたり、価値付けてもらえたりする中で「自信」をつけます。この自信が全ての行動のエネルギーとなります。

この二つ目については、どの子ももう少し強く語ることができるといい、ととらえています。一人一人はぼんやりと感じてとどまらず、防災、交通安全等、これで充分というゴールがない内容です。今年度、子どもたちは、自分の命を守るために本当によく努力をしました。それを思いっきり褒め、続けていけるよう働きかけをしていきます。

これからも、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

中学校の出前授業を受けました ～6年生～

3月10日（水）に、本校に岩野田中学校の先生3名が来校され、6年生の各学級に対して出前授業をしてくださいました。6-1は英語、6-2は社会、6-3は技術家庭の授業を中学校の教科担任の先生から指導してもらいましたが、中学校ではたくさんの英単語を覚えなくてはいけないことを教えてもらったり、社会では、世間で話題となっているSDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）について、現在の自分の状況からどんなことが大事なのかを17の課題から選び、その根拠を話し合ったりしました。技術では、建物の強度について学びました。

どの子も、楽しくもありながら、適度な緊張感の中で1時間の授業を終えることができました。



一年間、学校の教育活動でご理解ご協力をいただき本当に有り難うございました。